

整理番号：shiraishicalcium-10

作成日：2023年9月21日

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名：花みらい

会社名：全国農業協同組合連合会

住所：東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル33F

担当部門：耕種資材部

電話番号：03-6271-8285

FAX番号：03-5218-2536

緊急連絡先：03-6271-8285

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシート (SDS) 「花みらい」(白石カルシウム株式会社作成) を参照してください。

1. 化学品及び会社情報

製品名	花みらい
供給者の会社名称	白石カルシウム株式会社
住所	東京都中央区京橋1-11-1
担当部門	営業本部 食品アグリ資材グループ
電話番号	03-3538-2354
FAX番号	03-3535-6514
e-mailアドレス	
推奨用途及び 使用上の制限	キウイフルーツ向け溶液受粉溶媒

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性:

・爆発物	区分に該当しない
・可燃性ガス	区分に該当しない
・エアゾール	区分に該当しない
・酸化性ガス	区分に該当しない
・高圧ガス	区分に該当しない
・引火性液体	分類基準に該当しない
・可燃性固体	区分に該当しない
・自己反応性化学品	区分に該当しない
・自然発火性液体	分類基準に該当しない
・自然発火性固体	分類基準に該当しない
・自己発熱性化学品	分類基準に該当しない
・水反応可燃性化学品	区分に該当しない
・酸化性液体	分類基準に該当しない
・酸化性固体	区分に該当しない
・有機過酸化物	区分に該当しない
・金属腐食性化学品	分類できない
・鈍性化爆発物	区分に該当しない

健康有害性:

・急性毒性(経口)	分類できない
・急性毒性(経皮)	分類できない
・急性毒性(吸入)	(気体、蒸気) 区分に該当しない (粉塵、ミスト) 分類できない
・皮膚腐食性/刺激性	分類できない
・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
・呼吸器感作性	分類できない
・皮膚感作性	分類できない
・生殖細胞変異原性	分類できない
・発がん性	分類できない
・生殖毒性	分類できない
・授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
・特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
・特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
・誤えん有害性	分類できない

環境有害性:

・水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
・水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
・オゾン層への有害性	分類できない

生殖能または胎児への悪影響のおそれ(もしわ ければすべての影響

絵表示又はシンボル:

なし

注意喚起語:

なし

危険有害性情報:

注意書き:

【安全対策】	P264	取扱後は手をよく洗うこと。
	P270	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
	P280	保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用 すること。
【応急措置】	P301+P312	飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡 すること。
	P302+P352	皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
	P304+P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させるこ と。
	P305+P351+ P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用し ていて容易に外せる 場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P332+P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診察、手当てを受けること。
	P337+P313	眼の刺激が続く場合：医師の診察、手当てを受けること。
【保 管】	P403+P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
【廃 棄】	P501	内容物/容器を国、地方自治体などの規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別:	混合物
化学名又は一般名:	キウイフルーツ向け溶液受粉溶媒
慣用名又は別名:	
成分及び濃度又は濃度範囲:	

成分名	濃度 (%)	官報公示整理番号	CAS RN
砂糖	6-8	-	-
寒天	0.1	-	-
着色剤	非公開	-	51811-48
水(イオン交換水)	92-98	-	-

GHS分類に寄与する成分:なし

危険有害成分:なし

4

吸入した場合:	呼吸に関する症状が出た場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢 で休息させること。
皮膚に付着した場合:	固着していない粒子を皮膚から払いのけ、皮膚を水で洗うこと。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せ る場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	この製品自体は燃焼しない。周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤:	特になし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時 措置:	作業の際には保護具を着用し、皮膚、目に付着したり、吸入しないようにする。
環境に対する注意事項:	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意す る。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	ウエス等で吸い取るなどの方法で取り除く。集めた漏出物は密閉できる容器に 回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:	
・技術的対策	・「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の対策を行い保護具を着用する。

- 安全取扱注意事項
 - みだりに粉じんが発生しないように取り扱う。
 - 取扱い後はよく手を洗うこと。
 - この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 接触回避
 - 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 保管：
 - 安全な保管条件
 - 安全な容器包装材料屋内倉庫で保管し、水濡れ・吸湿に注意する。
粉じんが漏えいしない密閉容器に入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度:

成分名	濃度 (%)	粉じんの許容濃度 日本産業衛生学会 (2017年)	ACGIH (2015年)
-	-	-	-

保護具:

- 呼吸用保護具 防じんマスクを着用。
- 手の保護具 ゴム手袋を着用。
- 眼、顔面の保護具 ゴーグルを着用。
- 皮膚及び身体の保護具 保護衣を着用。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態: 液体
- 色: 淡赤色
- 臭い: 無臭
- 融点／凝固点: データなし
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲: データなし
- 可燃性: データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界: データなし
- 引火点: データなし
- 自然発火点: データなし
- 分解温度: データなし
- pH: 5.0～6.0(5%懸濁液)
- 動粘性率: データなし
- 溶解度: データなし
- n-オクタノール／水分配係数: データなし
- 蒸気圧: データなし
- 密度及び／又は相対密度: 1.03
- 相対ガス密度: データなし
- 粒子特性: データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性: にし
- 化学的安定性: 通常の取扱い条件(常温)では安定
- 危険有害反応可能性: なし
- 避けるべき条件: 鉄、ステンレス
- 混触危険物質: アルカリ性製品
- 危険有害な分解生成物: なし

11. 有害性情報

- 急性毒性: データなし
- 皮膚腐食性／刺激性: データなし
- 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性: データなし
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性: データなし
- 生殖細胞変異原性: データなし
- 発がん性: データなし

生殖毒性:	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	データなし
誤えん有害性:	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:	データなし
残留性・分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性:	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、必須 関連法規ならびに自治体の条例に従って適切に処理する。
かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクル
に関する情報:

14. 輸送上の注意

国連番号:	
品名(国連輸送名)	該当なし
国連分類	該当なし
容器等級	該当なし
海洋汚染物質	該当なし
MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによ るばら積み輸送される液体物質:	該当なし

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対 策:	水濡れ、吸湿、破れ、荷崩れ、落下がないように注意する。酸類との接触を避 ける。
国内規制:	
・陸上輸送	該当なし
・海上輸送	該当なし
・航空輸送	該当なし

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法:	該当なし
労働安全衛生法(安衛法):	該当なし
毒物及び劇物取締法(劇毒法):	該当なし
火薬類取締法:	該当なし
高圧ガス保安法:	該当なし
消防法:	該当なし
化学物質の審査及び製造等の規制に関す る法律(化審法):	該当なし
船舶安全法:	該当なし
航空法:	該当なし
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法 律(海防法):	該当なし
じん肺法:	該当なし
外為法:	該当なし
輸出貿易管理令:	1-16項に該当
その他	該当なし

16. その他の情報

本データシートは化学工業用の一般的な取扱いに際しての安全な取扱いについて情報を集めたものであり、保証値ではあ
りません。新たな情報を入手した場合、随時改訂します。他の化学品との混合や、特殊な条件で使用する場合は、安全性を
確認してください。

本書はJIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019に基づき編纂しました。